



ほっとできる「こどもの居場所」 愛称とロゴを制作

本市では、家庭や学校とは異なる人間関係や環境の中で、こどもたちが安心して安全に、仲間たちと一緒に学び、遊びができる、あるいは、一人で自由に時間を使うことができるなど、こどもたちが主体的に過ごすことができる「こどもの居場所づくり」を進めています。

こうした居場所を広く周知するため、こどもの投票により愛称を決定し、より親しみやすいものとなるよう、居場所に掲示するロゴを制作しました。

ほっとできる「こどもの居場所」として市が登録した居場所に、ロゴを掲示していきます。

<ほっとできる「こどもの居場所」の登録者を募集中>

▶**主な登録対象**／こどもが安全・安心に過ごせる居場所として店舗や事業所スペースの一部などを週に2日以上提供でき、こどもの話し相手となれる人を確保できる、次のいずれかに該当する事業者・団体など

- (1)自治会や婦人会、地域住民組織
 - (2)「子供110番の家」登録者
 - (3)社会福祉法人や株式会社等、組織として活動している法人 など
- ※その他にも、登録条件あり

詳しくは、市ホームページをご覧ください。子育て支援課（☎47-7064）へ。



市HP

おおがき市



©2024 Oogaki City

さまざまな立場の5人のこどもたちが輪になり、その個性をカラフルな色で表現し、まんなかのハートは、安心して過ごせる居場所であることをイメージ

(デザイン制作:大垣女子短期大学デザイン美術科・学生)

「水都まつり」にぎわう



大垣おどり大会

水都大垣の夏の風物詩「水都まつり」が8月2～4日に、大垣駅通りや本町通りなどで開かれ、多くの来場者でにぎわいました。



水門川万灯流し

フレンドリーシティの鹿児島市から「おはら隊」も参加し、「駅前夏まつり」や「大垣おどり大会」でおはら踊りを披露して、まつりを盛り上げました。

また、3日には「水門川万灯流し」も実施され、色鮮やかな明かりが水面を照らしました。

スマホアプリ「マチイロ」で 「広報おおがき」を手軽に読めます！

「広報おおがき」をより多くの皆さんにご覧いただけるよう、スマートフォン用アプリ「マチイロ」で配信しています。

「マチイロ」のHPからアプリをダウンロードして登録すると、毎月1日と15日の広報発行日にお知らせが届き、スマホで手軽に「広報おおがき」を読むことができます。

詳しくは、秘書広報課（☎47-7376）へ。



マチイロ

8月15日号 主な内容

- ▶土曜日にもがん健診と脳ドックの受診ができます、児童手当制度が10月分から拡充 など …2～3P
- ▶災害時要援護者台帳に登録を、募集のお知らせ など …4～5P
- ▶講座のお知らせ、子育ての催し など …6～7P
- ▶催しのお知らせ、市民伝言板 など …8～9P
- ▶健康ガイド …10～11P
- ▶プレミアム商品券、ナシの即売会 など …12P

避難所となる全小学校に防災用マットを配布

普段は椅子のクッション ➡ 災害時は組み合わせて防災用マット

災害時に避難所となる市内の全19小学校に防災用マット計8,218枚を配付しました。

市と市教育委員会、太平洋工業(株)の3者が連携し、廃材などを再利用して開発したもので、普段は児童が椅子のクッションとして使い、災害時には複数枚を組み合わせることで避難所開設時に使用できる防災用マットになります。

環境・循環型社会、福祉、防災の視点を取り入れた製品で、防災や福祉分野の教育にも活用します。

今後は毎年度、小学1年生に追加配布し、小中学校の最長9年間の使用を想定しています。



普段は児童が椅子のクッションとして使う防災用マット



が防災用マットを組み合わせることで避難所開設時に使用できる防災用マットになります。